

ひの基金設立準備会



今回は、市民コミュニティ財団「ひの基金」の設立をめざして取り組まれている「ひの基金設立準備会」を紹介します。

「ひの基金」とは

日野町の課題解決や地域活性化など社会的に意義のある取り組みをみんなで応援する仕組みです。設立により、行政でも金融機関でもない、地域のつながりを生かした新たな資金循環が生まれます。

これにより、寄付金や休眠預金などのほか、金融機関や行政と連携したさまざまな方法で資金を調達し、町のために活動する方々を支援することができま。資金だけでなく、他機関と連携したコーディネートや伴走支援も検討されています。

取り組みのきっかけ

町長が掲げる「共創」の取り組みのひとつとして、すでに実績のある「公益財団法人東近江三方よし基金」の協力のもと、令和3年度に行った地域課題の抽出から、新たな資金循環の仕組みづくりの必要性が示されました。その後の協議や

勉強会を経て、令和6年度にトム・ヴィンセントさん（日野）を中心に民間主体の「ひの基金研究会」、令和7年度に「ひの基金設立準備会」を立ち上げられ、財団設立に向けて取り組まれています。

みんなで基金を設立したい

財団設立のためには、基本財産として300万円が必要で、現在寄付を募集されています。トムさんは、「大口の寄付があれば数人でもできてしまいますが、そうではなく、日野町に住んでいる人たちが関わりのある人たち、みんなで一緒につくりたいと思っています。これまでは資金などの問題でできなかったことに対し、この仕組みによって応援することができます。みんなでよりよい町をつつていきましょう。一口3,000円で寄付を募集中ですので、ぜひ、多くの方のご協力をお願いします」と話されました。



申し込み・問い合わせ先

ひの基金設立準備会事務局（大窪792）

☎090-1101-0628

企画振興課 企画人権担当（役場3階）

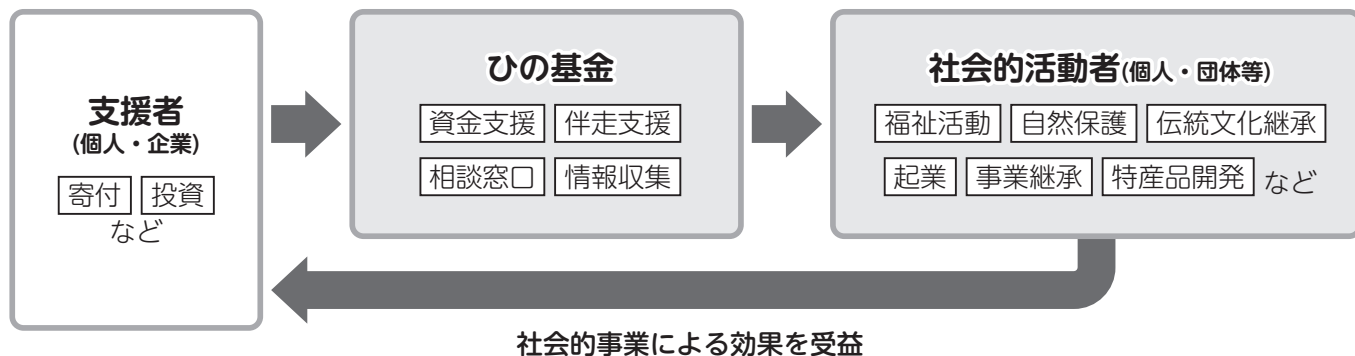
☎0748-52-6552

企画振興課でも寄付を受け付けています。



寄付申込フォーム

ひの基金の仕組みのイメージ



寄付・寄贈などのお礼



防災用品を寄贈いただきました

10月14日(火)、災害時の応援協定を締結している滋賀県電気工事工業組合様(鹿野敏夫理事長)から、防災対策の一環として「ポータブル電源用ソーラーパネル」を寄贈いただきました。これは、昨年同組合から寄贈いただいたポータブル電源(持ち運び用バッテリー)に電力を供給できるものです。避難所での電源供給や、通信機器の稼働維持などに活用させていただきます。

今回のご寄贈は、非常時における電力確保手段の一つとして大変心強い支援となります。ありがとうございます。



トイレットペーパーを寄贈いただきました

10月22日(水)、湖東信用金庫様(矢島之實理事長)から、子どもたちに環境問題に関心を持ってもらうため、庫内で発生した廃棄文書類をリサイクルしてつくられたトイレットペーパー500ロールを寄贈いただきました。



各教育施設で大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

日野町地域安全功労者表彰を受賞されました

10月17日(金)、西大路公民館において日野町地域安全活動推進大会が開催され、日ごろより安心安全なまちづくりに貢献いただいている8名の方が日野町地域安全功労者表彰を受賞されました。

【受賞者】

寺田弘次さん(日野)、小南長広さん(東桜谷)、横山久俊さん(東桜谷)、北浦幸子さん(西大路)、岡村忠一さん(西大路)、前田一昭さん(西大路)、岡崎正清さん(鎌掛)、山添潔さん(南比都佐)

受賞者の皆様、誠におめでとございます。



100歳

おめでとぅ

づえいます

◆西川 みよさん(西桜谷)

10月17日(金)にお誕生日を迎えられ、町長をはじめ関係者がお祝いに伺いました。西川さんは、畑仕事などをして過ごしてこられました。今はひ孫さんと出会うことが楽しみで、お風呂に入れてもらったりおしゃべりしたり、誕生日のお祝いもしてもらったそうです。手紙のやりとりもされていて、その手紙はどれも大事に残されています。

長寿の秘訣は「朝早く起きてコップ1杯の水を飲んでいます」とのこと。日常生活に必要なことは今も自分でされ、規則正しい生活を送られているそうです。お体を大切に、いつまでもお元気でいてください。



◆問い合わせ先

長寿福祉課
高齢者福祉介護担当

☎0748-52-6501